

## 第4回妖精資料活用検討懇談会議事要旨

日時：平成16年3月12日（金） 午後3時～

会場：宇都宮市教育センター コミュニティホール

出席委員：小林会長，木村会長，柏村委員，橋本委員，星野委員，小川委員，小関委員  
松江委員，鈴木委員，福田委員

主催者：高梨教育長

事務局：渡辺主幹，北條課長，石井補佐，森田係長，梁木係長，荒井総括主査  
石和主任主事

### 1 開 会（石井補佐）

### 2 会長あいさつ（小林会長）

・前回の意見を基に事務局で訂正していただいた案を基に，提言書を完成させて教育長に提出したいのでご協力願いたい。

### 3 議 事

(1) 第3回懇談会議事要旨（案）について …… 了承

(2) 妖精資料活用検討に関する提言書（案）について …… 了承

(3) その他

### 4 閉 会（石井補佐）

小林会長から高梨教育長へ提言書を提出

#### - 審議を通じての各委員の感想 -

##### 【小川委員】

- ・書籍，美術資料は，多岐に渡り一括管理は難しい。
- ・提言書の内容を具体的に実行していくのは困難であるのではないか。
- ・読書活動の推進については，やり方によっては読書離れにつながる危険性があり実際提言書を行動に移す段階で慎重に実施していく必要がある。

##### 【星野委員】

- ・提言書は出来たがこの後が重要である。これを契機に具体的な活動が始まれば良い。

### 【橋本委員】

- ・提言書は、良くまとまっている。この提言書の具現化を図るため、市は予算獲得に努力してほしい。
- ・グローバル化を意識し、色々な収集するほかイベントも内外問わず実施してほしい。「妖精」「小人」「魔女」などが出てくるのでグリム童話も活用してほしい。そうすれば面白いミュージアムになると思う。

### 【柏村委員】

- ・気になっている点が2つある。「宇都宮と妖精の関わり」と「資料の評価」である。提言書に資料の評価が記載されているということは、懇談会が評価したことになる。宇大の小林教授などが評価した事実を記載すべきではないか。
- ・夢のある施設が出来れば良いと思う。

### 【木村副会長】

- ・理想と現実がぶつかり合う懇談会であった。オスカーワイルドは、「理想は危険なものである。」と言っているが、この懇談会で現実の厳しさを教えてもらった。

### 【小関委員】

- ・懇談会に参加して、普段の仕事では出会えない方々と話をすることが出来た。
- ・提言書は、幅広く、深みがあると思うがもっともっと活用可能性があるのではないかと思う。事業の実施にあたっては、市民が自ら考えて作りあげていてもらいたい。
- ・ハコモノを造ってもソフト面の充実が課題である。妖精の火が消えないよう行政が推進して欲しい。

### 【松江委員】

- ・提言書は、良くまとまっている。懇談会に参加して夢が広がり、大変勉強になった。
- ・提言書には、色々な提案が出されており、この中の1つでも実現できれば素晴らしいと思う。

### 【鈴木委員】

- ・懇談会を通してふるさとを見直すきっかけとなった。

### 【福田委員】

- ・妖精は間口が広く、包容力がある。一点突破し、全面展開することが出来ると思う。事業は丹念に実施していくことが大切である。
- ・17ページの「事業活用フィールド」「郊外部」「その他」に聖山公園も入れてほしい。

### 【小林会長】

- ・何でも出来る提言書になっている。再来年度には建設も予定されているようだ。より良い実施計画を立てていただきたい。
- ・「資料の評価」については、有識者が評価した見解を基に懇談会で了承を得たとご理解してほしい。
- ・「聖山公園」は、「森林公園 など」の「など」に含まれるものと解釈してほしい。
- ・今回は、提言書（案）のとおりとすることでよろしいか。

全員了承